平成29年7月10日

各 位

会社名 川崎汽船株式会社
代表者 代表取締役社長 村上 英三
（コード番号 9107 東証・名証各1部、福証）
問合せ先 IR・広報グループ長 床並 喜代志
（TEL 03-3595-5189）

会社名 株式会社商船三井
代表者 代表取締役社長 池田 潤一郎
（コード番号 9104 東証1部）
問合せ先 広報室長 中西 慶一郎
（TEL 03-3587-7015）

会社名 日本郵船株式会社
代表者 代表取締役社長 内藤 忠顕
（コード番号 9101 東証・名証各1部）
問合せ先 広報CSRグループ長 小磯 潮
（TEL 03-3284-5058）

定期コンテナ船事業統合の新会社設立に関するお知らせ（その2）

川崎汽船株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：村上 英三、以下「川崎汽船」)、株式会社商船三井(本社：東京都港区、代表取締役社長：池田 潤一郎、以下「商船三井」)、日本郵船株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：内藤 忠顕、以下「日本郵船」)の3社が平成29年7月7日に設立した定期コンテナ船事業（海外ターミナル事業含む）に関わる新会社の詳細等につき、添付資料のとおりお知らせします。

以 上

本書類には、川崎汽船、商船三井及び日本郵船間の本統合の成否又はその結果に係る「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本書類における記述のうち、過去又は現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これらの将来予想に関する記述は、現在入手している情報を前提とする3社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知又は未知のリスク、不確実性などの要因が内在しています。これらの要因により、将来予想に関する記述に明示的又は黙示的に示される3社又は3社のいずれか（又は本統合後の持株会社及び事業会社）の将来における業績、経営結果、財務内容などに関し、本書類の内容と大幅に異なる結果がもたらされる可能性があります。また、3社は、本書類の日付後において、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。なお、上記のリスク、不確実性その他の要因の例としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

(1) 本統合の実施に手続上及び実務上の困難が伴うこと
(2) 市場の需給関係の変化、並びに競合環境及び大口顧客との関係の変化を含む市場勢力図の変化
(3) 日本や他国の経済状況の変動及び為替相場の変動
(4) IT障害、サイバー事件、又はその他の理由により個人情報や機密情報が不正流用されたり削除されたりする可能性
(5) 本統合後の持株会社と事業会社の従業員、事業所、主な施設及びITシステムに悪影響を及ぼす可能性のある天災又は人災の発生
(6) 事業活動に係る法令その他規制の変更
(7) 本統合に関する競争法上の関係当局の審査等の手続の遅延又は競争法上の関係当局の承認その他必要な承認等が得られないこと
(8) 本統合後の持株会社及び事業会社においてシナジーや統合効果の実現に困難が伴うこと

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

定期コンテナ船事業
統合新会社設立　説明資料

2017年7月10日

Ocean Network Express　川崎汽船　商船三井　日本郵船

新会社の運営体制

運営体制	社名	機能
持株会社（日本）	オーシャン ネットワーク エクスプレス ホールディングス株式会社（Ocean Network Express Holdings, Ltd.）	Ocean Network Expressの全体ガバナンスを担う組織
事業運営会社（シンガポール）	Ocean Network Express Pte. Ltd.	Ocean Network Expressの事業運営を担う組織
香港 シンガポール 英国 米国 ブラジル 事業運営会社地域統括拠点	Ocean Network Express (East Asia) Ltd. Ocean Network Express Pte. Ltd. Ocean Network Express (Europe) Ltd. Ocean Network Express (North America) Inc. Ocean Network Express (Latin America) Ltda.	各地域の事業の統括を担う組織

新会社の役員構成*1

オーシャン ネットワーク エクスプレス ホールディングス 株式会社	Ocean Network Express Pte. Ltd.	オーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパン 株式会社*2
代表取締役会長 田邊　昌宏	CEO Jeremy Nixon	代表取締役社長 木戸　貴文
代表取締役副会長 鈴木　俊幸	取締役 岩井　泰樹	
代表取締役副会長 丸山　英聡	取締役 辻井　廣喜	
取締役 小野　晃彦	取締役 山鹿　徳昌	
取締役 原田　浩起		
取締役 明珍　幸一		

*1:所定の手続きが完了次第正式就任予定
*2:2017年10月設立予定

事業運営会社CEOのご紹介

Jeremy Nixon

Chief Executive Officer

2012年4月 – 2017年7月10日
NYK Group South Asia Pte. Ltd.- CEO of Global Liner Management Division
日本郵船株式会社 - 経営委員（2013年4月就任）
シンガポールを拠点として、グローバルにおける日本郵船の定期船事業を担当。*NYK Group South Asia Pte Ltd.* における取締役会メンバー、および日本郵船株式会社経営委員。

2010年5月 - 2012年3月
NYK Group South Asia Pte. Ltd.- Chief Operating Officer - Global Liner Management Division
シンガポールを拠点として、*CEO*直轄でグローバルにおける日本郵船の定期船事業を担当。

2008年4月 - 2010年4月
NYK Line Europe Ltd - Managing Director
ロンドンを拠点として、*NYK Group Europe*の*President*直轄でヨーロッパおよびアフリカにおける日本郵船の定期船事業を担当。

2005年12月 - 2008年3月
Maersk Line - Head of Global Key Client Management
コペンハーゲンを拠点として、*Maersk Line*で*P&O Nedlloyd*の事業統合を担当。

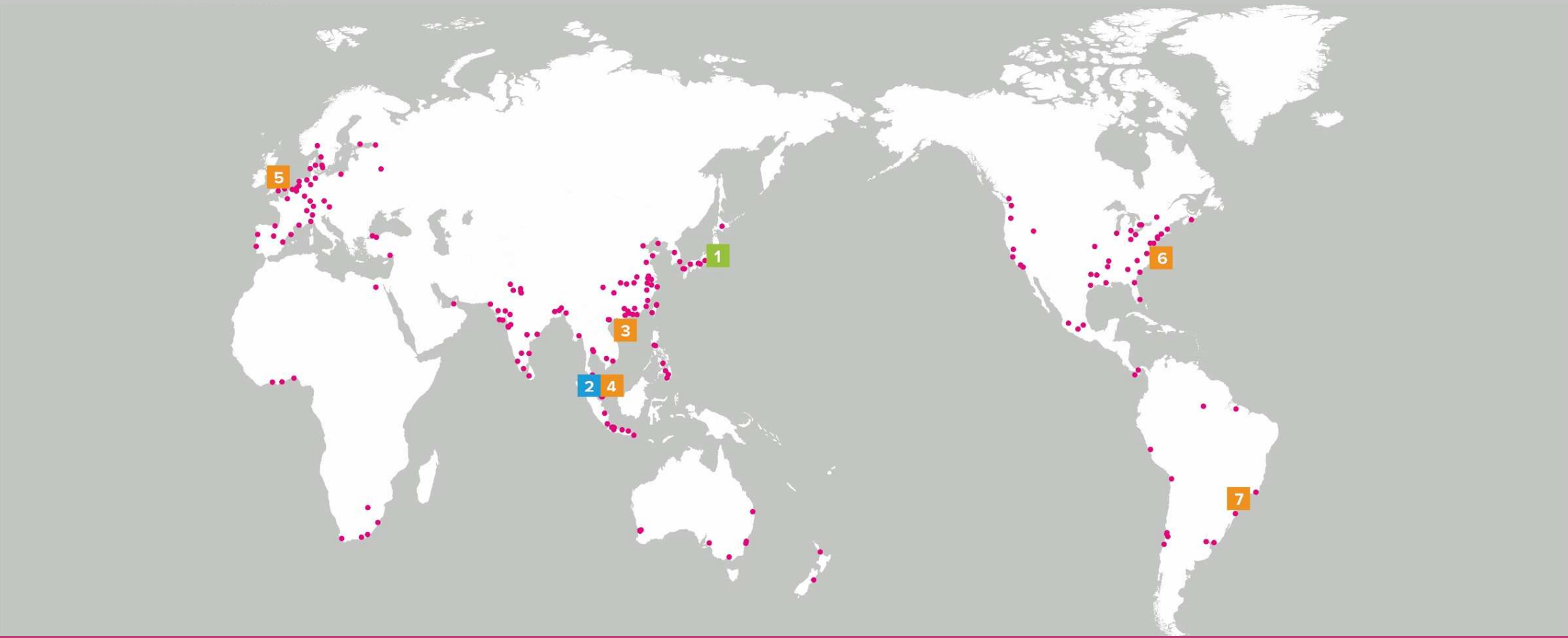
2002年4月 - 2005年11月
P&O Nedlloyd - Head of Europe Trade Management & Global Sales
ロンドンを拠点として、*P&O Nedlloyd*でヨーロッパにおける輸送事業、およびグローバルにおける営業を担当。

事業運営会社概要

商号	OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD.
所在地	シンガポール共和国
代表者	Jeremy Nixon
事業内容	定期コンテナ船事業（海外ターミナル事業含む）
資本金	200,000,000 USD
統合設立日*	2017年7月7日

※統合準備を進めるため、事業統合契約書合意に基づき、日本郵船株式会社の出資により2017年3月27日に会社登記を行っております。本項での「統合設立日」とは川崎汽船株式会社、株式会社商船三井を含む3社による出資完了日を意味しております。

90カ国以上でサービスを展開予定



持株会社：　1 日本（東京）

事業運営会社：2 シンガポール

事業運営会社地域統括拠点：

3 香港

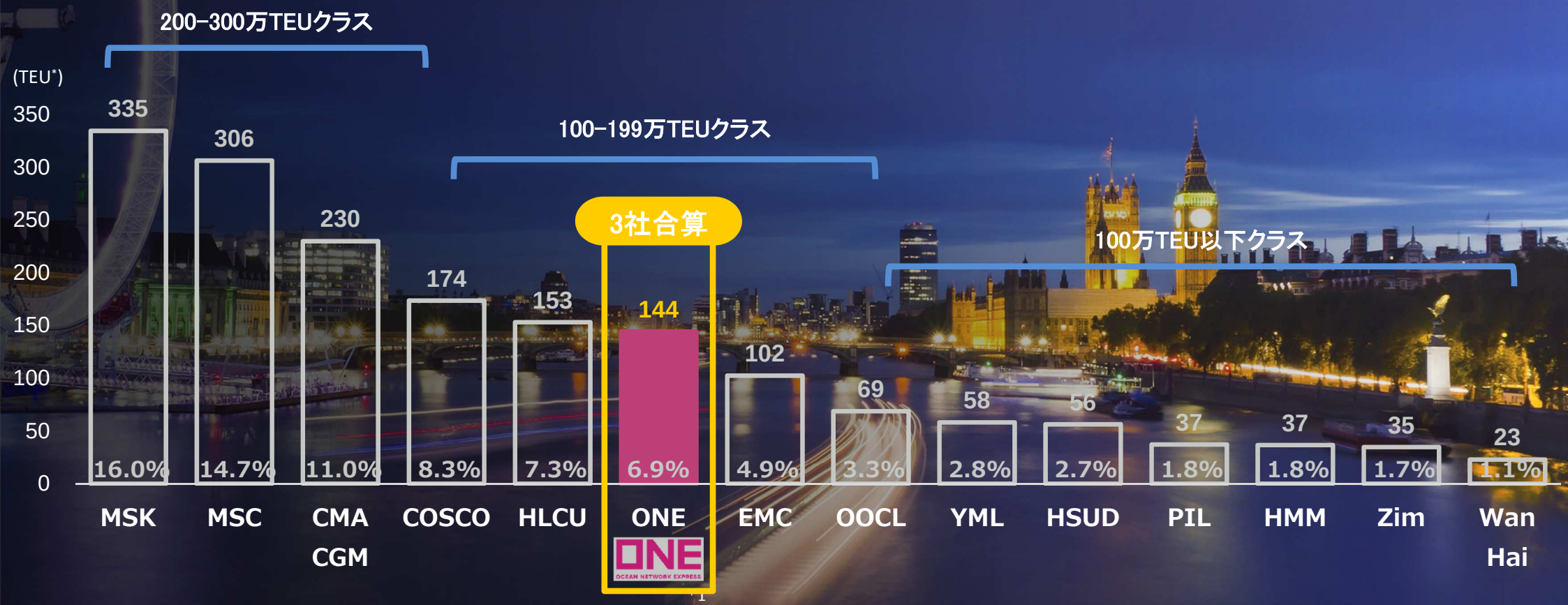
4 シンガポール

5 英国（ロンドン）

6 米国（バージニア州リッチモンド）

7 ブラジル（サンパウロ）

144万TEU
世界第6位



注）2017年6月時点での3社船隊規模合計（発注残を除く）
出典：Alphaliner Monthly Monitor, Jun 2017
（*TEU: Twenty-foot Equivalent Unit, 20フィートコンテナ換算）

VISION

一つのチームとなり、NO.1をめざし、唯一無二の存在になる。

We are ONE

コンテナ輸送の本質をどこまでも磨き上げて行くと
そこに何が見えてくるのだろう。
ネットワークの効率をどこまでも究めていくと
どんなサービスが実現できるのだろう。
業界の慣例を打破し、夢と可能性を形にするために、
私たちは生まれました。
大洋を、大陸を、あらゆるルートで結び、確かな輸送を実現する。
Ocean Network Express
思いを伝える名前とともに、
日本の海運三社のベストプラクティスを融合し
世界のコンテナビジネスを新たな次元へと引き上げていきます。
最適なグローバルコンテナ輸送を通して、お客様のビジネスを成功に導き、
それが積み重なって、生活に、社会に、世界に豊かさをもたらす。
様々な新しいチャレンジが目指す進路は、ただひとつです。
All routes lead to ONE.

Core Values

Inward（対内）

- Lean & Agile
- Teamwork
- Best Practice
- Challenge

Outward（対外）

- Quality
- Reliability
- Innovation
- Customer Satisfaction

We are ONE

ONE
OCEAN NETWORK EXPRESS

ONE Team

- Teamwork
- Best Practice

No.1

- Quality
- Reliability
- Customer Satisfaction

Only ONE

- Innovation
- Challenge
- Lean & Agile

No.1 Ocean Network Express

シームレスなサービスを実現する世界最高水準のネットワーク

世界最大級の2万TEU型船を筆頭に、
超大型コンテナ船31隻を含む、
総数約240隻の船隊を運航。
90ヵ国以上を結ぶ広範囲なネットワークを
構築することで、お客様の様々なニーズに
対応可能な、世界最高水準のサービスを
提供。

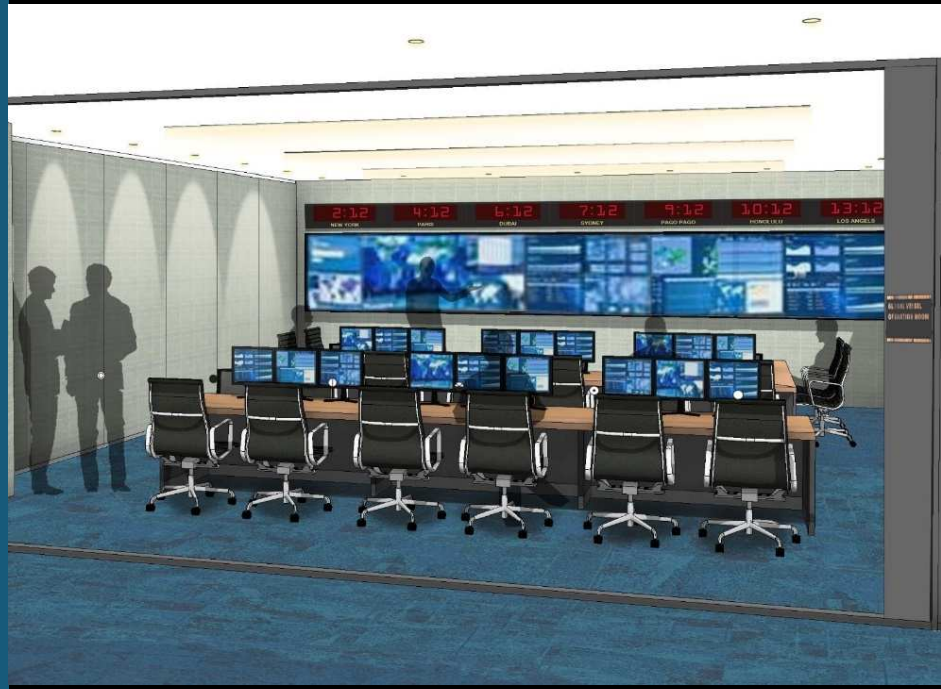
Lean & Agile
Teamwork
Quality
Reliability
Best Practice
Challenge
Innovation
Customer Satisfaction

Only Ocean Network Express

最先端の技術を駆使し、サステイナブルな安全運航を実現

100年以上にわたり磨き続けてきた安全運航の技術と実績に加え、最先端技術を用いた「ONE DNA (Drive to No Accident)」を継承し、Global Operation Roomをシンガポールに設置。24時間体制での本船運航状況の監視を実現。最新アプリケーション「AIMS」や「VAMOS」の導入による、隠れた事故原因（ヒヤリハット）の積極的な洗出しや、本船の検船状況データのモニタリングなどにより、能動的な安全対応を実現。

Global Operation Room 完成イメージ



Lean & Agile | Teamwork | Quality | Reliability

Best Practice | Challenge | Innovation | Customer Satisfaction

No.1 Ocean Network Express

膨大なデータをリアルタイムで連携させ、最適経済運航を実現

コンテナ船の最適経済運航を実現させるために、IBISプロジェクトを継続的に実施。
気象・海象予測、海流データや各船の運航状況、航海計画などの情報を陸上と船でリアルタイムで共有することで、
最適経済運航を実現。また、IBISデータを蓄積することで、より高い精度へ更新。

Lean & Agile | Teamwork | Quality | Reliability

Best Practice | Challenge | Innovation | Customer Satisfaction

IBIS Project

Only Ocean Network Express

3社の環境技術を引き継ぎ、新技術による環境対応を加速

空気潤滑システム「主機掃気バイパス方式」等の世界初の最先端技術に続き、デュアル・レーティングシステムの導入やエコーセイリングの徹底によりCO_2を大きく削減。
また、中長期的な環境への取り組みとして次世代環境対応フラッグシップを推進。

Lean & Agile | Teamwork | Quality | Reliability

Best Practice | Challenge | Innovation | Customer Satisfaction

各社の環境スローガン

- 青い海を明日へつなぐ
- Count On MOL
- Green Policy

No.1 Ocean Network Express

お客様視点に立った細やかなサービスを実現

日本の海運会社として各社が長年に渡り培ってきた、
「おもてなし」のサービスを更に進化させ、
より細やかなサポート体制をグローバルに展開。
「C.A.R.E」*活動を継承し、
最新のCRMシステム(顧客情報システム)を
導入し、人と伝統とITの融合により、
お客様の視点に立った、バラエティに富んだサービス
体制の構築を目指す。

*Care for our customer, Assure quality, Reinforce sales, Enhance customer service

Lean & Agile | Teamwork | Quality | Reliability

Best Practice | Challenge | Innovation | Customer Satisfaction

No.1 Ocean Network Express

先進的な需要予測・検証システムを兼ね備えたイールドマネジメント

EAGLEプロジェクトでは、数理学・統計学モデルを取り入れた最適化システム（Operations Research）にて世界のコンテナ輸送計画を数カ月先まで予測。

加えて、YMS (Yield Management System)では、Marketingの効率化と往復航の貨物最適化を検証する仕組みを構築。

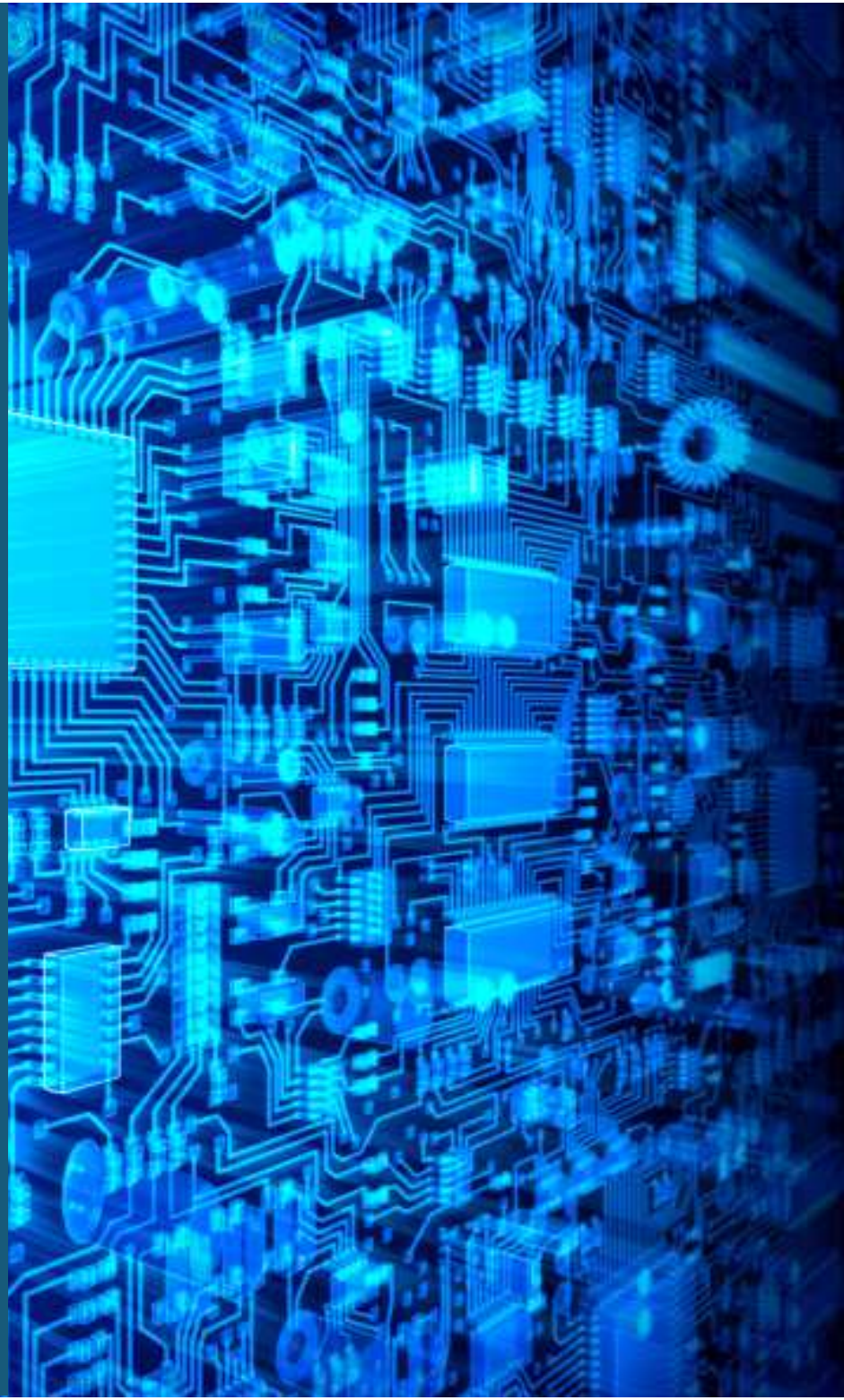
Lean & Agile | Teamwork | Quality | Reliability

Best Practice | Challenge | Innovation | Customer Satisfaction

Only Ocean Network Express

最新テクノロジーを活用した革新的なサービス

業界の垣根を越えて、様々な分野のプロフェッショナルパートナーと一体となり、その活動をイノベーションのエンジンに、革新的なサービスを開発。



Lean & Agile | Teamwork | Quality | Reliability

Best Practice | Challenge | Innovation | Customer Satisfaction

Ocean Network Express Team

Lean & Agileな組織
スピーディーな意思決定

迅速な意思決定、効率的な事業運営を極めるべく、複雑なコンテナ船事業の機能を「ヒト・フネ・ハコ」の3つのコア組織に集約。
厳しい国際競争に勝ち抜くべく、
“Lean & Agile”な事業運営を行う。

ヒト : Corporate & Innovation
フネ : Product & Network
ハコ : Marketing & Commercial

Lean & Agile
Teamwork
Quality
Reliability
Best Practice
Challenge
Innovation
Customer Satisfaction

Ocean Network Express Team

成果主義をベースとした グローバルな人事制度

成果主義をベースとした人事制度を導入し、ダイバーシティに富み、マルチカルチャーな組織を構築すべく、グローバルな人材登用を推進する。

Lean & Agile | Teamwork | Quality | Reliability

Best Practice | Challenge | Innovation | Customer Satisfaction

今後のスケジュール

*10月頃より順次シンガポール、香港、上海、ロンドン、ロッテルダム、サンパウロ、ニューヨーク等にてプロモーションツアーを実施予定

2018年4月1日
サービス開始

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS